令和元年度

家庭裁判所調査官 インターンシップin札幌

参加者の声

全国で開催された裁判所インターンシップ（家庭裁判所調査官），３回目の開催となった札幌では，９月９日から１１日の３日間で行われ，１５名が参加しました。
インターンシップの主なプログラムに沿って，参加した学生の皆さんの様子や感想をお届けします！

参加者の声

家裁調査官に強く
魅力を感じるようになった

迷っている人には参加を
特におすすめしたい

濃すぎるぐらいの３日間

１つのことを作り上げる
達成感がある

アンケート

Q．インターンシップへの
参加を考えている後輩に，
裁判所インターンシップは
お勧めできますか？

全員が
後輩に勧めたいと
回答しています！

1日目 講義・少年の事件調査の事前準備 模擬面接

講義

まずは自己紹介を行いました。学年や専攻は様々でしたが，どの実習生も人と関わる仕事への関心が高く，これからの**実習への期待**にあふれていました。

さっそく，家庭裁判所で何が行われているのか，そこで家裁調査官はどのような役割を果たしているのかについて，講義が行われました。

まだまだ緊張している様子。これから一緒に頑張りましょう！

少年の事件調査の事前準備

１日目から２日目の午前までは少年事件の実習です。模擬事例をもとに，その少年が非行に及んだのはなぜなのか，少年を取り巻く環境はどのようなものであるかなど，グループで討議しました。

討議では，１人では気付かなかった意見が次々と出てきました。実習生は，自分とは異なる視点や意見も受け止め，討議を重ねるごとに**少年への理解**を深めることができました。グループで検討を深めていくワクワク感や多角的な視点で物事を捉えることの大切さを実感したようでした。

休憩時間も，実習指導官と和やかに交流していました

リアルな模擬面接に，実習指導官からのコメントにも熱が入ります！

模擬面接

グループ討議の結果を踏まえ，少年との模擬面接を行いました。最初はシナリオに沿って，次はアドリブで，全員が家裁調査官役と少年役のそれぞれを疑似体験しました。

実習生は，ここまでの討議を基にそれぞれの役に入り込み，熱の入った面接を展開しました。家裁調査官役として，何とか少年の気持ちを理解しようと工夫して問い掛けるだけでなく，面接を受ける**少年の立場も体験**することで，ますます少年への理解を深めることができました。

＼参加者の声／

アドリブで面接を行うことが緊張感に満ちていてよかった

少年の心を開くには，家裁調査官の人間性が大切であることを痛感

少年役も体験したことで，多角的に考えることができた

2日目 処遇意見の検討・模擬審判 父・母・子どもの心情検討

処遇意見の検討

２日目は，非行をした少年の処遇をどうするか，家裁調査官としての意見を検討しました。前日の実習で少年への理解が深まったからこそ，**少年の将来**のために何が一番適切なのか，ここでもいろいろな意見が出てきて全員で悩みました。また，この後の模擬審判に向け，審判では家裁調査官として何を述べるべきか，グループで検討しました。

模擬審判／振り返り・意見交換

実際の少年審判廷を使い，現役の裁判官と裁判所書記官が立ち会って模擬審判を行いました。**本番さながらの雰囲気**に張り詰めた空気が漂いましたが，家裁調査官役の実習生からは，ここまでの実習の集大成として，少年の立ち直りや今後のより良い人生を心から願う声かけが次々となされ，厳粛な中にもあたたかさのある迫真の審判となりました。

普段は非公開の手続きのため，文献では得られない少年審判の様子を肌で感じることができました。

その後の意見交換では裁判官のホンネを聞くことができました。

生の審判をみているよう

＼参加者の声／

本物の審判廷で，緊張感を味わえた

実習生の成長に，実習指導官も胸が熱くなりました

父・母・子どもの心情検討

２日目午後からは家事事件の実習です。子どもの親権を巡って対立している夫婦の模擬事例を題材に，実習指導官による講義や**調停場面の実演**が行われた後，調停に至るまでに家族に起こる出来事を描いたドラマを視聴し，ドラマに登場する家族それぞれの心情とその変化を，グループで検討しました。

初めての家事事件に戸惑いを見せた実習生もいましたが，実習生それぞれが真剣に考えて，意見を出し合い，家族それぞれの心情について理解を深めていました。

実習指導官が交代。実習生もすっかり打ち解けています

3日目

庁舎見学
子どもの調査の検討・模擬面接
全体の振り返り・座談会

庁舎見学

実習もいよいよ最終日。

家裁調査官の執務室のほか，実際に使われている調査室や調停室，児童室を見学しました。児童室では，子どもとの面接のためにいろいろな工夫があることを知りました。

家裁調査官が調査の目的によって部屋を使い分けていることを知り，実習生も**家事事件の奥深さ**を改めて実感したようです。

子どもの調査の検討・模擬面接

前日に行った家族それぞれの心情に関する討議結果を踏まえ，子どもの調査についてグループで検討しました。その後は，実際の調査室を使い，家裁調査官役と子ども役の面接を疑似体験しました。

子どもとの面接がいかに難しく，年齢に応じた繊細な配慮がどれだけ必要であるか，子どもがどんな気持ちになるのか，実習生の皆さんは，まさに家裁調査官の**仕事の最前線**を，リアルに感じることができたようです。

苦労しながらも，次々と良いアイディアが出てきました！

実習生がみんなで面接を作り上げていく様子に感心しました

＼参加者の声／

本物の雰囲気で取り組めた

難しさ，楽しさを感じた

実際のやりとりや感情を体験できた

全体の振り返り・座談会

３日間のインターンシップを振り返り，それぞれが感じたことや得られたこと，今後の目標などを発表・共有しました。

また，実習指導官が，実習生の質問に答えたり，実習中の様子について**１人１人にフィードバック**したりしました。

実習生全員が，自分の意見を率直に伝えながら，
それぞれの意見に耳を傾けて認め合う様子は，
家裁調査官の普段の姿を見ているようでした。
「家裁調査官を目指したい！」という声が嬉しかったです。

＼参加者の声／

たった３日間ですごく成長できた

参加前と比べて，この仕事に就きたい！
というモチベーションが全く違う